



中村康信

高見山の白銀の世界

暖かくて雪が少ないのではと心配したが、「冬の華」霧氷がおりなす白銀の世界を楽しんだ。バス利用のたくさんの登山者で登り道は渋滞したが、強い風は吹かなかった。ただ山から眺望が全くきかなかったのが残念だった。

アイゼンは、森本さんが、団体装備から借りてくれた。初めてのアイゼン歩行は、歩くにつれて馴染んできたが、昼食後立ち上がる際につまずいて、みんなの前で、雪山ダイブした。

川田弘

アイゼンを使用しての雪山登山。少し不安はありましたが、関西のマッターホルンと呼ばれる高見山は雪の時期にいつか行ってみたかった山でした。登山口では雪はほとんどありませんでしたが、途中から滑りやすい地面になり、いよいよアイゼンを装着。やはりアイゼンをつけると全然違いますね。昨年参加したアイゼントレーニングのことも思い出しながら、進みました。映画のワンシーンにも出てきそうな樹氷の世界を楽しめました。絶景でした。山頂はマイナス3℃程度でしょうか、少し寒かったですね。下りもアイゼンのおかげで順調に下ることができました。参加の皆さんお世話になり、ありがとうございました。

岡本純子

初めて雪の上でアイゼンを履き、凍った雪の上でも滑ることなく歩けるのを実感することが出来ました。出発地点には全く雪がなかったのに山頂に近づくと、とても綺麗な樹氷を見ることが出来て感動しました。寒さを意識し過ぎて、たくさん着込んでしまい汗をかいたりその汗が冷えたりと、寒さの中の衣服調整が今後の課題です。

山本浩恵

樹氷の高見山。今年の暖冬とここ最近の春めいた気温で、早くから楽しみしていた樹氷は見られる？道中も登山口にも雪っぽい感じはなくて、ただただ空気が冷たいだけ。仕方ない、久しぶりの山行を楽しもうと歩みを進めていくと、徐々に山肌や木々が白くなってきて。スタートから2時間ほどで「これが樹氷！キレイ!!」トレーニング以外で初装着のアイゼンも、滑る足元の不安を取り除いてくれて、快適快適。もちろん、寒さ特に手先の冷たさはツラかったけど、大満足の山行でした。あ、山頂での大混雑とそれに比例してたかすみ温泉も入場規制で入れなかったのは残念でした。冬の山歩き、今度はもっとの雪山にチャレンジかなあ。

仲野郁代

関西のマッターホルン！行った方から写真を見せてもらったり話をお聞きして『今年こそ行きたい！』と思っていたら例会で出ていたので参加しました。

登山口は全く雪がないのにわずか1時間ほど登ると見事な銀世界で、美しさに目を奪われました。チェーンスパイクを使って歩くのは初めてでしたが、つけて歩くと全く滑ることなく、歩くことができ、驚きでした。

冬山でも楽しめる、きっかけの登山となりました。ありがとうございました。

鳥山俊子

朝から曇り空の中、たかすみの里から登山口まで歩き出発。徐々に足元が雪混りになりアイゼンを付けて登る。高見山らしいエビの尻尾や霧氷、樹氷等が見られました。昼食時は寒すぎて急ピッチで食べ下山しましたが楽しめました。初めてのチェーンアイゼンで不安もあったが問題無かったです。ありがとうございました。



登山口に雪は無し



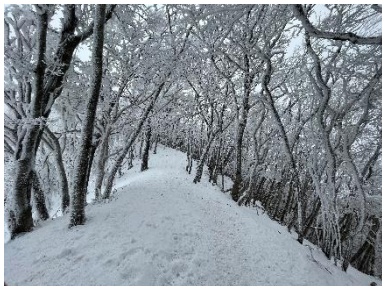
標高 715m 高見杉まで来たがまだ雪は現れず



標高 750m 付近で  
ようやく白くなり始める



標高 925m 付近にてアイゼン装着



標高 1,000m を超えてくると白銀の世界に



(上)見事に育ったエビの尻尾  
(右)山頂はガスで一面真っ白



山頂付近の混雑を避け、  
下った所でランチ

